

進路指導部通信

県立高等特別支援学校

進路指導部

2015. 1. 23 NO. 8

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。今年は雪が降りとても寒いお正月となりましたね。生徒のみなさんはしっかり職業実習の宿題ができましたか。この冬休みだけで終わらさずに継続していきましょう。継続は力なりですよ！さて、最も短い3学期が始まりました。文化祭までは普段の流れとは違うため、バタバタとすることでしょう。そういうバタバタの時こそ心を落ち着け日々の生活を送ってほしいと思っております。前回も述べた「考える」ことをして、今本当にすべきことか？心を落ち着けるということはどういうことなのか？ということをしかりと考えていきましょう。

3年生にとっては大切な時期でもあります。新たな生活に向けて期待もしていることでしょうが、まだまだ不安な気持ちは沸いていないかもしれません。当たり前のこの生活が終わりを迎え、制服に袖を通さなくなった時に感じるのかもしれませんが。卒業式までの間に楽しい行事もありますが、結合実習や内定実習が待ちかまえています。合同面接会に臨む生徒たちもいます。3年生は浮かれることのないよう、今一度気を引き締め直しましょう。お互いを思いやる心を持って過ごしてほしいです。

2年生は文化祭が終わると、本人、保護者、進路指導部、担任の4名で進路相談会を実施します。この冬休みに書類が配布され将来についてご家庭で話し合いをされたかと思ひます。自分自身と向き合える大切な時間です。良いところばかりを理解するのではなく、自分の苦手とするところをしかりと理解し、自分の言葉で相手に伝えることができるようにしておきましょう。3年生の1学期にはハローワークや支援センターの

方々との面談が実施されます。その時に本人と保護者の思いにずれが生じないようにしましょう。

1年生はやっといろいろなことに慣れてきた時期だと思ひます。積極的な生徒、消極的な生徒と様々です。進路というのは就職を希望する人、福祉利用を希望する人とそれぞれではありますが、皆目指すところは同じだと思ひます。双方に共通することは「自立」です。社会で生きていくためには「自立」をしなければなりません。自分の持ち物を管理したり、提出期限やルールを守ったり、挨拶をしたり、当たり前前のできなればなりません。誰かに指示を出されて出来るでは、本当の「出来る」ではないからです。社会に出るといふことは本当に大変なことです。ある企業の方が「最近挨拶のできない人が増えている。「我が社はできなければその日は帰らせます。」とおっしゃられました。今一度、「自立」に向けて考えていきましょう。

どの学年にとっても大切な3学期です。各学年の締めくくりに相応しい3学期としましょう。

知っておこう⑧

保護者の方々の中に「高特は、なぜ生徒に資格を取らせるように指導しないの？」「資格を持っていた方が就職に有利なのでは？」と疑問をお持ちの方々がおられるのではないのでしょうか。本来、資格とは従事する仕事に必要な資格が生じて取得することがほとんどです。本校の生徒たちが就労する際に資格を必要とされる企業や事業所はありません。本校の生徒に何よりも大切なのは、働くことの意義や、やり甲斐、労働習慣を身につけることだと思ひます。働き始めても一人前になるには何年もかかります。数年で完璧にできるような仕事などありません。まずは目の前の与えられた仕事としかりと向き合い、責任を持って取り組むことが大切だと思ひます。